

つながる☆ひろがる

幼保小連携通信

発行:札幌市教育委員会 幼児教育センター担当課
令和4年6月



5月31日に「第1回幼保小連携推進協議会」を開催しました

全市共通で
幼保小連携・接続
について学ぼう！

テーマ
学びをつなぐ幼保小連携・接続
～幼児期の教育と児童期の教育の理解を深める～



協議会はずなかりのきっかけ

「連携」とは？
「接続」とは？
その効果とは？

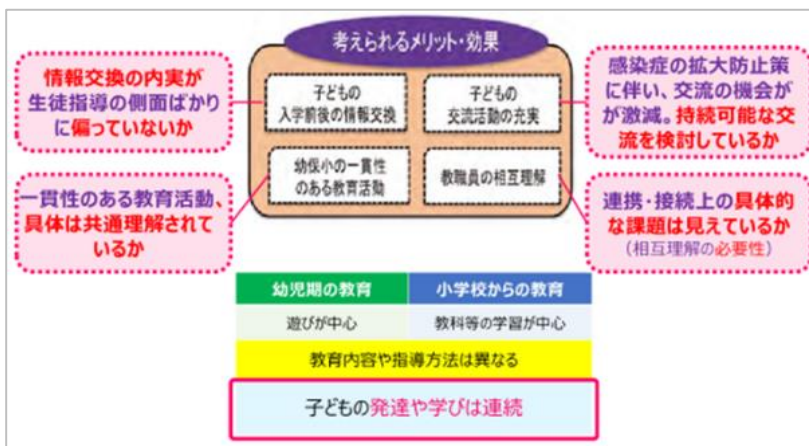
区幼保小連携推進協議会は、これまで区ごとに企画・運営してきましたが、国や札幌市の動向からも幼保小連携・接続の在り方を全市で学ぶ機会を大切にしたいと考え、令和4年度からは10区共通の内容で「幼保小連携・接続とは何か」を学ぶことにしました。

第1回のテーマは 知る

【講演会】 学びをつなぐ幼保小連携・接続 ～幼保小連携・接続～**具体と課題**を「知る」～

講師 札幌市立三角山小学校長 渋谷 一典 氏

これまで本協議会では、実施による**メリット**や**効果**を4つ挙げていました。成果がある一方、現状から**課題**と考えられることについて提言していただき(右図参照)、その後ブロック交流会を行いました。



【幼保小連携推進協議会を行うことで考えられるメリット等と現状の課題】

【ブロック交流会】

講演会の内容を踏まえ

ブロック内で意見交流

*ブロック：中学校区または小学校区をもとに、幼保小のグループを編成

テーマ スタートカリキュラムを知る・幼児教育で大切にしたい学び・ブロックで今後取り組みたいこと など

スタートカリキュラム＝学校教育に慣れさせるためのもの…と捉えていた。既存の学校のスタイルに合わせるべく小学校側の意図だけで作っていた面はないか考えさせられた。(小学校教諭より)

小学校以降の学びは教科の学習が中心となるが、受け身の学習ではなく、自発的に子どもたちが学べる工夫をしていることが分かった。(保育教諭より)



講演会の中の動画で、幼児教育と小学校教育(スタートカリキュラムの実践)を両方視聴し、これまで知らなかった教育の具体や遊びや授業から子どもの育ちをどのように見取るかなどを学ぶことができた。(参加者の多数より)

学びの連続性を考えると、小学校の指導方法の工夫や改善が課題である。幼稚園等の遊びや活動のねらいやそこの学びをより理解することが必要だ。(小学校教諭より)

幼児教育施設は園によって特色が様々ある。子どもたちが学んできたことをどのように受け止めていくと良いか。(小学校教諭より)

※各区の報告やアンケートより抜粋しています。詳細は区が発行する「幼保小連携だより」をご覧ください。

幼保小連携推進協議会のclassroomに、当日の資料等が掲載されています。

クラスコード iem3mtb

ご質問、ご感想等は幼児教育センター担当課までお願いします。 Tel671-3220

